

令和8年 第7回小松市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和8年6月24日（水）

開会 10時00分

閉会 10時30分

2 場 所 小松市役所6階 教育長室

3 出席委員

教育長 山本 民夫

教育長職務代理者 中惣 恭子

教育委員 村井 啓介

教育委員 浅蔵 一華

教育委員 表 幹也

4 事務局出席者

事務局長 藤井 勝司

教育庶務課長 中川 久美子

学校教育課長 新名 孝

教育研究センター所長 中田 一宏

生涯学習課長 中屋 清志

ひととものづくり科学館副館長 多井 伸明

市立高校事務長 村田 篤哉

5 書記

教育庶務課課長補佐 湊 幸子

6 傍聴人数 2人

7 付議案件

（1）議案

議案第15号 小松市立那谷小学校の再編について（学校最適化検討チーム）

（2）報告事項

報告事項第22号 寄附の受納について（学校教育課）

報告事項第23号 小松市奨学金貸与審査委員の委嘱について（学校教育課）

報告事項第24号 寄附の受納について（市立高校）

(3) その他報告事項

- 1 生成A Iのガイドラインについて（教育研究センター）
- 2 高知県宿毛市への小学生派遣事業について（生涯学習課）
- 3 空とこども絵本館開館20周年記念事業について（生涯学習課）

8 議 事 以下のとおり

山本教育長	只今から、令和8年第7回小松市教育委員会会議を開会いたします。 本日の議事は、議案が1件、報告事項が3件、その他報告事項が3件です。 本日の会議録の署名委員は小松市教育委員会会議規則18条第2項によりまして中惣委員を指名いたします。 本日は、傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。
書記	おります。
山本教育長	本日は傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか。
各委員	<異議なし> <傍聴者入室>
山本教育長	携帯電話をお持ちの方は、電源を切るかマナーモードへの設定をお願いします。 それでは議案の審議に入ります。議案第15号小松市立那谷小学校の再編について、学校最適化検討チームをお願いします。
藤井事務局長	私の方からご説明いたします。先の議会の6月定例会の議員の方からのご質問にお答えしたような形の内容に沿ってになりますけれども、教育委員会としての方針の決定が必要と思い、今回議題として上げさせていただいています。まず、こちらの方の現在というところです。ご覧の通り、那谷小学校につきましては全学年で3学級の複式となっています。ちょっと2つ段飛びまして令和8年3月に策定した小松市学校規模及び配置最適化基本方針において、複式学級の可及的速やかな解消ということが方針として決定いたしております。那谷小学校につきましては、なかなか今後も児童数の増加というのは見込めず、将来的にはゼロになるということも言われておりますので、1日も早く、児童の皆さんの学校環境、教育環境を少しでも良くしようということで、その機能から下について教育委員会としての方針として決めさせていただきたいというものです。再編の基本方針です。那谷小学校につきましては令和9年の4月から就学先を矢田野小学校とするということを基本に、必要な準備を進めたいというふうに思っています。なぜ矢田野小学校かというと、学校の規模をちゃんと確保できるということになります。最低2学級以上が必要というような基本方

針がありますので、一番隣接で、規模が適正になるということで、矢田野小学校ということを基本とさせていただいています。ただ、来年の4月から急にということで対応が難しいご家庭とか諸事情があるご家庭もおいでということもあると思いますし、矢田野小にはどうしてもっていうケースもあり得ると思いますので、就学先の変更申請がもしあれば、そこは個別の事情に丁寧におこたえしながら対応していきたいというふうに思っています。2番の移行スケジュールです。令和9年4月から、基本は、できれば皆さん、いっぺんに移動していただくというのがベストだと思うんですけども、先ほど言いました通り、諸事情もあると思いますので、令和10年4月、1年間ぐらいは、少し余裕を持ちながら皆さんのご希望とかをお聞きしつつ、丁寧に対応していきたいと思っていますが、令和10年の4月を目指すという形で今回記載させていただいています。2つ下になりますけれども、那谷小学校の閉校及び統合の時期そのものは、ちゃんと学びの継続性、児童たちの心理面への配慮、就学の準備、通学体制の確保などを総合的に勘案しながら、子供たちが新たな教育環境に円滑に移行できることを最優先に進めたいと思っています。ちなみに、昨年度から、矢田野小学校と那谷小学校の交流というのは進めておりまして、7月7日にも、両校での交流ということもやる予定でいます。学校同士で少しでも柔軟に、或いはスムーズな、移籍ができるような対応というのを両校の間でも進めたいというふうに思ってますし、このことについて、地域の保護者の皆さんであるとか、地域の皆さんへの説明会についても7月に入りましたら、教育委員会、市長も行くとおっしゃってますので、市長も交え、教育委員会事務局を中心に、地元の方にご説明に伺いたいと、丁寧に対応していきたいというふうに思っています。スクールバスの準備に入っています。登下校についてはスクールバスで、ちゃんと対応すると。それから学童については、那谷で学童ができるような対応準備もします。ただしそれは、ご家庭で矢田野に行きたいっていう方がおいでれば矢田野で構わないと、那谷でっていうことの場合は、スクールバスで那谷の方まで矢田野からお送りして、そこで学童は那谷で受けるということも対応していきたいというので準備を進めていきたいと思っています。以上です。

山本教育長

それでは議案第15号について質問等ありませんでしょうか。

<質疑なし>

山本教育長

それでは議案第15号は承認でよろしいでしょうか。

各委員

《 承 認 》

山本教育長

それでは続きまして、報告事項に入りたいと思います。学校教育課お願いします。

新名学校教育課長 まず寄付の受納についてです。小松市校下女性協議会から生理用品の寄付がありました。5月28日に受納し、すでに全校に配布済みです。女子トイレの方に常備し、保健室に予備を保管するというような対応をしてもらっています。続いて、小松市奨学金貸与審査委員の委嘱についてです。審査委員会委員名簿の方ご覧ください。規則の方では左にあります区分、この4区分から10人以内で組織するというふうにあります。昨年度までは7人委嘱していたんですが、今年度からは5人に精選しております。そして市立高校の校長、民生委員児童委員協議会会長の2人が異動等により変更となっております。以上です。

山本教育長 ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

＜質疑なし＞

山本教育長 それでは続きまして、市立高校お願いします。

村田市立高校事務長 市立高校ですよろしくお願いいたします。寄付の受納についてご報告いたします。6月3日、小松美術作家協会様から、市立高校芸術コースの充実のため、小松の美入札展での収益の一部10万円の寄付がございました。市立高校からは以上です。

山本教育長 ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

＜質疑なし＞

山本教育長 それでは続きまして、その他報告事項に入りたいと思います。教育研究センターお願いします。

中田教育研究センター所長

生成A I ガイドラインについて、生成A I 技術につきましては、日々進化を続けておるという状況で、常に学校現場の方では、教員が校務等で利用するという一方で、子供たちも普段利用している状況がうかがわれます。また今年度小松市教育委員会が文部科学省の生成A I パイロット事業に採択され、芦城小学校と芦城中学校を指定校として、生成A I を含む情報活用能力の育成に向けた研究実践をするということとなっております。そういった状況を鑑みながら、まず、子供たちに指導する教職員を対象に、ここにありますが生成A I を正しく理解して適正に指導できるように、文部科学省のガイドラインを参考に生成A I 利活用ガイドラインを策定いたしました。この概要につきましてはここにありますが、この2のところにありますけれどもまず人間中心の利活用というところを大原則としまして、その下の方に、教職員の校

務における利活用、それから次のページには、児童生徒の学習活動における利活用というこの大きな2つの項目に分けて、それぞれについてその基本的な考え方、効果のあがる具体的な利活用場面、それから出力内容の確認、著作権の配慮、個人情報の入力禁止等の留意事項を定めております。それで最終の4ページにおきましてチェックリストを設けて、日々、注意しておくべきことについて、意識できるようにしておくという作りになっております。またここにはありませんけれどもこのガイドラインとあわせて教員には研修を義務づけておりますし、子供たちに対しても生成A Iが新しく使えるような、そういう事前学習のプログラムを用意して、学校で指導を行ってもらっているという状況になっております。説明は以上となります。

山本教育長

ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

<質疑なし>

山本教育長

生成A Iにつきましては、いまだにやはり世間では賛否両論あるような気がします。しかし、避けて通れない時代だと思いますので、正しい使い方を子供たちに早く指導することで、学習効果も高まればなという思いで、指導に入っていきます。今年芦城小学校芦城中学校は、文部科学省の生成A Iパイロット校に指定されましたので、そちらの方でも、校務も含めて、取り組んで参りますので、また機会があったら、見ていただければなと思っております。

山本教育長

それでは続きまして、生涯学習課お願いします。

中屋生涯学習課長

生涯学習課からは2件報告します。はじめに姉妹都市・高知県宿毛市への小学生派遣事業について説明いたします。本市は、令和6年11月に高知県・宿毛市と姉妹都市協定を締結しました。昨年度は宿毛市から小学生8人を含む11人が本市を訪れ、交流を深めました。今年度は、本市から宿毛市へ小学生を派遣します。市内の小学校および義務教育学校に通う5、6年生を対象に参加者を募集したところ、14校から30人の応募がありました。書類選考を経て、7校から8人の児童の派遣を決定しました。派遣のスケジュールですが、出発前に計3回の事前研修を実施し、宿毛市についての学習や、現地の小学生との交流資料を作成する予定です。訪問期間は7月27日から7月30日の3泊4日で、滞在期間中は、宿毛市役所の訪問をはじめ、すくも湾漁協・市場、県立足摺海洋館SATOUMI、宿毛市歴史館などを訪れるほか、大島小学校の児童との交流も予定しています。また、8月下旬には、派遣児童による市長への報告会を開催する予定です。

次に空とこども絵本館開館20周年記念事業について説明いたします。平成18年に開館しました「空とこども絵本館」は、今年、開館20年を迎えます。こ

れに伴い、開館 20 年を記念したイベントや、絵本館と深い繋がりのある松居直氏の生誕 100 年を記念した特別展を開催する予定です。7 月 11 日(土)の午前 10 時 30 分からは、絵本館 1 階ラウンジにおきまして、開館 20 周年記念セレモニーを開催します。当日は、くす玉割りやお祝いコンサート、お祝いおはなし会などで 20 年の節目をお祝いします。本日、臨席案内を配布いたしました。ご都合がございましたら、ご臨席いただけますようお願いいたします。10 月 3 日(土)から 11 月 8 日(日)にかけて、特別展「絵本の旅人・3 人〜深く感じ 深く思い 深く考える〜」を開催します。松居直氏から寄贈された貴重な絵本関係資料の展示や、松居氏と同年で親交の深かった絵本作家である安野光雅(あんの・みつまさ)氏、かこさとし氏の原画展を、本陣記念美術館及び絵本館ホール夢の本棚の 2 会場で開催します。また、特別展の期間中の 11 月 1 日(日)には、空とこども絵本館において記念講演会を開催します。講師には、ファッションデザイナーの皆川明(みながわ・あきら)氏をお招きします。皆川氏のものづくりに対する真摯な思想や子どもの純粋な感性への向き合い方は、生涯を通じて絵本づくりや子どもの読書環境に情熱を注いだ松居直氏の精神と深く通じ合うものがあります。お二人の理想の共通点を軸に、貴重なお話を伺う予定です。その他関連イベントとしては、既に終了したものもありますが、1 年を通して様々なイベントを予定しています。

山本教育長

ただいまの報告について質問等ありませんでしょうか。

<質疑なし>

藤井事務局長

絵本館について補足ですけど、20 周年でこういうイベントみたいなものをするんですが、小松市の子供らに対する結構特徴的な強みみたいな施設であるので、こういう絵本館っていうのが他にないような強みではあるのでそれも含めてもう 1 回再認識してもらう意味で、プロモーションをちょっと力入れようかなと思ってます。せっかくいい施設があるので、教育施設であり子育て施設でもあるので、皆さんにちょっと再認識と県外市外も含めて、プロモーションちょっとしようかなと思ってます。

山本教育長

宿毛市も本当 30 人全員連れて行ってあげたいところなんですけど、いろいろ都合もありますし、向こうからも 8 人きたということでお互い負担かからないように、8 人ということで、選ばせていただきました。一応私も行くことになりますので、はい。暑い高知へ行って参ります。

山本教育長

それでは委員の皆様方からご意見、提言等ありましたら、お願いします。

中惣委員

今月 6 月の計画訪問で、私は 2 つの小学校を訪問させていただきました。特

に印象に残りましたのが、各学年、各教科で、ICTを活用した、とても活気溢れる授業が多かったということです。タブレット導入時は本当に教員の方々も、児童も、ちょっと時間がかかっている、なかなか操作にスムーズにいかないっていうことをよく見られたんですけども、もう今は、子供たちの操作も早く、また、音楽、図工の授業では、すごくクリエイティブで、興味深い使い方をされていて、とても面白く見させていただきました。それは本当に先生方の日々のご尽力の賜物なんだろうなということを実感して訪問させていただきました。以上です。

村井委員

この会議の中でも、時々資料データとしても多分提示されてると思いますし、引き続き調査されてることだと思うんですけども、今働き方改革っていうことで、我々の民間企業も、要は残業、なるべく時間外労働を少なくしようとか、休日をふやしていこうという動きをしないと、社員の確保ができない状況にあるんですが、私最近夜歩いている、それが8時9時、私安宅なので、学校の周りとかもグルグル歩いたりしてるんですけど、昨日に関しては小学校が特に遅かったんです。8時9時ぐらいでも普通に職員室の電気ついてるんですよ。で、こういう働き方改革っていうことを言われだしても大分経つと思うんですけども、現状、少しずつ例えば残業時間が減る傾向にあるのかとか、何かその改革に取り組む現状がどんな流れになりつつあるのかっていう、もし分かればちょっと教えていただきたい。結構遅い時間に、結構大変だなんて思いがやっぱりどうしてもあるので。

藤井事務局長

詳しくは学校教育課になると思うんですけども、自分も今年教育委員会事務局に来てまさにそんな話をして、少し他市から比べて小松市の方がデータ上はちょっと多かったんです。多かったんですが、それは小松の先生方が、真面目に全部をやろうとしてる結果っていうこともあって、子供のために、何でもやろうとしている結果そうなるっていうことを伺ったので、それは悪いことではないので、いいことだけれども、それだけではやっぱり苦しい働き方改革とかと、やっぱり逆行する部分と、やっぱりなり手不足っていうのに繋がるので、そこは今、学校教育課の方で少しずつでもいいから会議を減らしていったりとか、校務も減らしたり、或いはDX化したりとかっていうことを進めてやっていこうっていうので、やっています。ただ、小学校の先生方もやっぱり遅かったりするのとは十分認識してるので、そこはやっぱり、もうちょっと手を入れていかないといけないんだろうなと思ってますけど。

新名学校教育課長

おっしゃる通りで、ただ数字的に言うと、5年前から比べると、小学校でいうと、令和元年で時間外在校時間月平均が42時間、令和6年度でいうと、36時間にまで今は減っています。それから中学校の方は令和元年で60時間が令和6年で50時間というふうに少しずつですが、業務の改善は進んでいるって

いうふうにしてもいいと思います。

藤井事務局長

並行してなんですけど、ちょっと新聞に出たのであれですけど、教育長ともちょっと相談しながらなんですけど、部活動の地域展開ってあるじゃないですか。あれを、今ある部活動を地域に移行するっていう考え方ではなくて、放課後改革に近い状態なので本来は。学校の先生方の学校教育としての時間と、そこから切り離れた地域教育、家庭教育の時間とっていうのをうまくセパレートして、放課後改革の1つの中で部活動地域展開とか、或いは学校の開放のあり方とか、放課後学習クラブを学校でやるとか。或いは、前に中惣委員が言われていた学校に文化関係の方々も入り込んでクラブとかできないかっていうお話いただいたと思うんですけど、そういったものを、放課後改革という位置付けでちょっとできないかなっていうのを、今年考えたいと思っていて、それ生涯学習課と今ちょっとプランニングをしてるところで、それがある程度方針みたいな素案みたいなのができたらまたちょっと教育委員会会議に諮って皆さんのご意見を伺いたいなと思ってるんで、それも、教職員の中学の方になりますけれども、負担軽減にちょっと繋がればなというふうにはちょっと思っています。

中惣委員

村井委員のご意見に補足させていただくんですが、先生方のご負担でいうとやっぱり小学校では、規模がもう本当に違います。小規模から大規模校まで。そこでやっぱり毎回計画訪問で感じるのは、この学校によって先生方の負担、やっぱり多人数、大規模校では、先生方の負担はやっぱり大きいです。ここの格差もすごくあって、小規模校だと時間通りに帰れることも多いのかなというふうに思うんですけど、やっぱり大規模校となると、とても負担が大きい。そこがもっと人員を増やせないかっていうこともいつも毎回思うことです。

山本教育長

この働き方に関しましては、国の方からも、業務量管理・健康確保措置実施計画、そういうものが出て、教育委員会がきっちりと管理しなさいよということで、これまで教員が担ってきた業務を、ちょっと見直して、少しずつ、外せるものは外していこうとしております。例えば明日やったかな、少年の補導とかを教員が夜巡視したりしてるんですけど。市の事業として。これはもう教員は学校の業務に専念して欲しいっていうことで、地域の方に巡視してもらおうと。もちろんお旅とか、ああいう祭礼があったときには、教育活動として巡視はすると思うんですけども、町の補導員として巡視するとか、そういうものはなくしていきましょうとか、いろんなところで、そういうことを考えて動き始めてますので、またお気づきの点あったら、ご指摘いただければと。安宅小学校は、多分来週月曜日が計画訪問なので、多分その準備じゃないかなっていうような気がしました。

浅蔵委員

タブレットを使うのは本当にどこの学校も、いい感じで使ってるなっていうの思ったんですけど、子供たちの様子を見とったら、すごい画面に近づいて、どこまで近づくんやっていう感じでしてる子が何人か見られたので、ちょっとそこそこら辺もうちょっと離すとか、あと見ると画面の文字がものすごくちっちゃい。自分の意見書けっていうその字がすごいちっちゃい。だからそこを何て言うんだろう。今は見えるかもしれないけど、何かやっぱり、将来的にもうここまで近づかんでいいやろっていうぐらい近づいてる子がやっぱり何人かいたので、ちょっとそこがすごく、親目線というか、自分の体験から思いつつちょっとすごく心配になったので、昔も何か教科書とか離してみなさいみたいな感じでちょっと自分のときは注意されたので、ちょっとそこもちょっと気になった1つですね。

山本教育長

ああいう器械ものを使うと、いろいろあるんですけど、視力に関しては、これは間違いなく良くないと思います。私の小学校の頃なんか目の悪い子が遠くを見るような訓練か何かで休み時間に遠くを見ていたとかありましたけどね。学校によってはグラウンドの隅っこの方に視力のCのマークがあったかな。どこか、学校のグラウンドの一番端の方にね、そういうのを置いてみるとか、なんかちょっと遠くを見るっていうことも、なんか仕掛けていっても面白いかなとは思う。

浅蔵委員

もう必要以上に何か本当に張りついて見とるような子が何人も見受けられたので、それはちょっとって思いながら見てたんですけど。

中惣委員

テーブルも狭いので、どうしてもやっぱり近くなってしまうっていう問題もありますね。

山本教育長

多分視力検査等も定期的にやってますので、そのデータが出てくると思いますので。また何か考えていきたいなと思います。

山本教育長

本日は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。